

立志 向学 調和



三和中だより

あお

こころ

神石高原町立三和中学校

蒼き魂

自ら学び 自ら考え 協働できる 心豊かな生徒の育成

*いじめ、体罰・セクハラ相談窓口 TEL: 0847-85-4511 (山根教頭・高垣教諭・各担任)

◆ 3学期のスタートです

1月7日(水)、新年を迎える3学期の始業式を行いました。校長からは、2学期から私たちが取り組んできた「三中 good action」を踏まえ、「改めて学校生活における『望ましい姿や行動』について振り返り、よりよいものにしていこう。しっかり考え、共有し、意識して行動する中で、自分の成長や学校づくりにつなげていこう。」と話がありました。自分たちが意見を出し合いながらバージョンアップした「三中 good action」に向け、望ましい姿や行動が増え、より成長できる学期となることを期待しています。



「望ましい行動」について、意見を出し合いました。



自分たちの考え方や意見について、しっかりと伝わるように、体験や理由などを踏まえながら発表することができました。

◆ 次世代議会で、提言を述べました

12月24日(水)、令和7年度次世代議会が役場議場で開かれました。3年生から2組が代表して提言を述べました。

一つ目の提言は、「子供が安心して過ごせる町づくり」に向け、遊ぶ場所と時間の工夫についてでした。生徒たちは、実際に総合的な学習の時間で、段ボール迷路とスタンプラリーの設置に取り組み、その体験を踏まえた内容でした。また、平日だけでなく休日に遊べる場所の開放や子供向けのイベントの開催等について質問をしました。

二つ目の提言は、「地産地消とデジタル化の推進」に関する内容でした。地元の食材とデジタル化との融合により、地域経済の活性化につながると考え提言しました。具体として、生産者の声や調理の様子が動画で見ることができる「生産者デジタルマップ」の作成等、様々な工夫が挙げられました。2組とも、町長をはじめ各課長の前で堂々と発表し、答弁に対しても質問を切り返すなど、日ごろの授業での学びを發揮することができました。

新年、明けましておめでとうございます。
本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

うれしいことがありました。

冬休みの間に、外にある倉庫の片づけを野球部の生徒達がきれいに、そして使いやすいように掃除と整理整顿をしてきました。隅々まで驚くほどにきれいになっています。作業は大変だったと思いますけれど、誰かのために行動することができる、働くことができる生徒がこんなにも多くいることを誇りに思います。

三学期の始業式後の片づけにおいても2年生の有志達が多く残ってくれて、気持ちよく後片付けをしてくれました。誰がしてもよいこと、誰かがすればよいと思ってしまう場面において、自分から動くことができることは素晴らしいことだと思います。新学期早々のとてもうれしい出来事でした。

このような献身性は、三和中学校の代々の先輩から受け継がれてきたものだと思っています。よき先輩の姿を見て、自然に同じような行動ができるようになってきたのだと思います。これが三和中学校の当たり前!!

私たちは、この良き伝統が続くよう、これからも同様に生徒をサポートしてまいります。

引き続き、三和中学校へのご支援・ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

三和中学校長 辻 雅人



◆ 第27期生徒会本部役員が決定しました



常に良き手本だった3年生本部役員の皆さん、本当にありがとうございました。

生徒会役員選挙後、各種委員長の立候補者面接を経て、第27期生徒会本部役員9名が決定しました。12月23日(火)の2学期終業式後、新生徒会長から各委員長6名に任命証が渡され、いよいよ学校のリーダーのバトンが3年生から2年生に引き継がれました。新生徒会のもと、新たなスローガンとともにいよいよ活動が始動します。先輩たちから受け継いだ伝統を守りつつ、どのように発展させるのか、今後の活躍が楽しみです。

また、生徒の皆さんには、その一員として何ができるか真剣に考え、案を出し合い、協働しながら、創造していきましょう。三和中学校の新たな歴史を刻んでくれることと期待しています。



リーダー研修会では、よりよい学校づくりに向けて考えることができました。

◆ 委員会主催による「大縄跳び大会」、「バレーボール大会」を実施しました

保育委員会主催で、12月11日(木)、「大縄跳び大会」を実施しました。各委員会がチームとなり、1年生から3年生までお互い声を掛け合いながら、大縄を跳びました。その取組の中では、大会の当日まで、作戦を考えながら練習をする生徒たちの姿もありました。また、「バレーボール大会」では、有志で男女混合チームを作り、協力しながら、試合に臨んでいます。



お互い声を掛け合いながら、跳んだ回数をかぞえました。

縄を回す生徒を見ながら、息のあったジャンプです。

生徒が主体的に企画・運営をし、また、その活動を応援しながら、盛り上げようとする生徒たちの様子は、よりよい学校づくりに向けた雰囲気を生み出しています。今後も、生徒たちの生き生きした姿が増えることを願っています。

◆ 「性と生を考える」教育講演会を実施しました



「性と生」について、分かりやすく話してくださいました。

12月4日(木)、3年生を対象に、河野産婦人科クリニック院長の河野美代子先生から「豊かな関係作りのために『性と生』を考える」をテーマに、二次性徴で変化する体のしくみや妊娠と出産に関わる知識、自分らしさと性の多様性などについてお話をいただきました。

生徒たちは、真剣な表情で話を聞きながら、大事に育てられた命であること、性に関する問題や自分で考え方行動を選択する力の重要性を学びました。

また、一人の人間として、自分も相手も大切にしながら、よりよく生きることについて考えることができました。



「挑戦」 令和7年度三和中学校が目指しているキーワードのひとつです。

生徒会本部役員改選において、二年生から9名、一年生から3名の生徒の立候補がありました。

よりよい学校づくりを目指し、自分の力を発揮したいという素晴らしい「挑戦」です。

今後、その挑戦が学校づくりのパワーになると、大変期待しています。

～ひとこと日記～

